

■ 日本財団の「番屋再生プロジェクト」について

2012年2月より東京海洋大学、岩手県漁業協同組合連合会、宮城県漁業協同組合、全国漁業協同組合連合会、大日本水産会、日本定置漁業協会などの水産業関係団体と連携しプロジェクトを実施中。番屋の再建にあたっては「地域に開かれた機能」を付加することを提案しており、漁業関係者以外にも利用者の幅を広げ、地域の人々が集う拠点となることを目指す。第一号となる岩手県宮古市の「鍬ヶ崎番屋」(5,790万円)は2012年8月に完成し、漁業関係者に加え、地域の集会場や宮古水産高校の実習の場としても活用中。岩手県内では今回の3棟を合わせると合計5棟2億2509万円、宮城県内では3棟1億7916万円、両県では合計8棟4億425万円の支援となる。今後、日本財団は被災3県に約15ヶ所程度の番屋再建の支援を予定。

■ 今回決定した3棟の詳細

| | |
|---------|--|
| 名称 | 尾崎白浜コミュニティー番屋 |
| 完成予定 | 2014年4月 |
| 住所 | 岩手県釜石市平田8-75 |
| 管理運営 | 釜石湾漁業協同組合 |
| 延床面積・構造 | 137㎡・軽量鉄筋コンクリート造、平屋建て |
| 施設概要 | 休憩・集会室、炊事・研修室、 |
| 特徴 | 津波で番屋が流失後、釜石湾漁協尾崎支所の事務所を漁業者の休憩場所として使用。尾崎白浜では春からワカメの養殖やウニの水揚げを予定しており、十分に作業や休憩ができる番屋が必要。新たな番屋は漁業者だけではなく、背後にある尾崎神社や集落の催事、漁協女性部による漁業者への食事の手配などにも活用される。 |
| 助成金額 | 4,114万円 |

| | |
|---------|---|
| 名称 | 三陸やまだ漁協自営部門番屋（仮称） |
| 完成予定 | 2014年4月 |
| 住所 | 岩手県下閉伊郡山田町境田町1-5 |
| 管理運営 | 三陸やまだ漁業協同組合 |
| 延床面積・構造 | 140㎡・木造平屋建て |
| 施設概要 | 休憩・集会室、調理室、直売コーナー、多目的室（漁業体験コーナー）等 |
| 特徴 | 津波で番屋が流失後、緊急措置で仮設番屋を設置しているが、プレハブ造りのため雨漏りしており漁業者の休憩所や作業所としての機能は果たせていない。新たな番屋には春から最盛期を迎える定置網漁業の漁師休憩所・作業所だけではなく、漁協による直販コーナーや漁業体験コーナーを設け、観光施設としても活用される。 |
| 助成金額 | 5,134万円 |

| | |
|---------|--|
| 名称 | やぎみなと番屋 |
| 完成予定 | 2014年7月 |
| 住所 | 岩手県九戸郡洋野町種市第2-73-3 |
| 管理運営 | 種市南漁業協同組合 |
| 延床面積・構造 | 161㎡・木造平屋建て |
| 施設概要 | 会議室、休憩室、給湯室、多目的室、集会場等 |
| 特徴 | 津波で番屋が流失している。新たな番屋は、地元の漁業者だけではなく、夏に最盛期を迎える廻来船(岩手県外のイカ釣り漁船)の乗組員の休憩所としても活用される。建設予定地は洋野町営八木魚市場の隣接しているため、名物の「北紫雲丹」の直販も行い、買受人や漁協役職員の休憩・会議施設としても活用される。 |
| 助成金額 | 3,790万円 |

※上記助成金額には建設費用のほか、設計監理費及び備品費・竣工式典費用等も含まれます。